

付属資料・目次

| | |
|--------------------|-----|
| 特記仕様書（抜粋） | 特 1 |
| 現場説明付記事項・案内図・構内配置図 | 1 |
| 排水計画平面図 | 2 |

土木工事特記仕様書

工 事 概 要

| | |
|---------|---------------------------|
| 工 事 名 称 | 京都大学（北部）基幹・環境整備（屋外排水設備）工事 |
| 工 事 場 所 | 京都府京都市左京区北白川追分町（京都大学北部構内） |
| 完 成 期 限 | 令和 7 年 8 月 2 9 日（金曜日） |
| 工 事 内 容 | 排水管新設、樹新設 |

一般特記事項

- 総 則
1. この工事の受注者は、国立大学法人京都大学契約事務取扱要領（平成 1 6 年 4 月 1 日財務担当理事
裁定制定）別記第 1 の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書、設計図面、文部科学省土木工事
標準仕様書（令和 4 年版）、工事数量表、文部科学省土木工事施工管理要領及び工事写真撮影要領に
基づき工事を施工する。

2. 特記仕様書の適用方法

(1) ・印で始まる事項及び表中の・印の事項は、○印の付した事項のみ適用する。

(2) 表中の数字、文字又は記号を記入する事項は、記入してある事項のみ適用する。

(3) ———で抹消した章及び項目の当該特記事項は、すべて適用しない。

(4) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱いは、特記されたもの又は同等以上
のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

(5) 左欄の（ ）内の数値は、文部科学省土木工事標準仕様書の各該当番号を示す。

3. J I S 改正等のある場合はそれら最新の基準によるものとする。
- (1.3.5)
施 工 条 件

この工事現場では、次の施工条件による。

●本工事建物周囲には、研究棟等が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮する
と共に、安全にも十分配慮すること。

●工事用地および工事用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入
時などに周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。

●穿孔工事等の騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。

●臭気の発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。

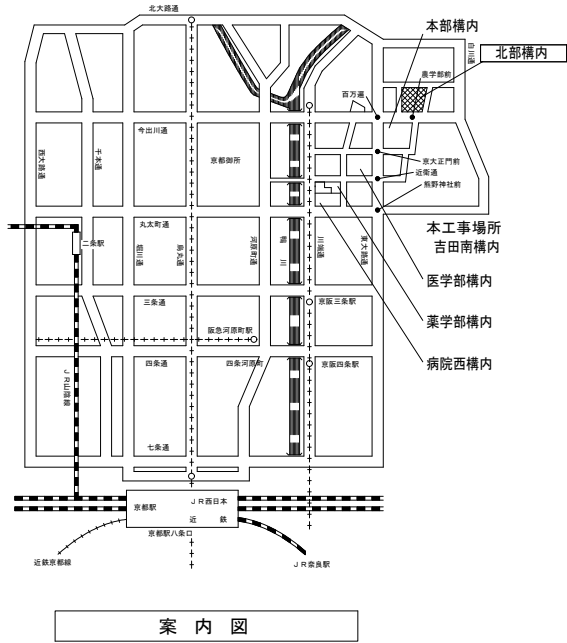
●構内の行事等により作業が制限されることがあるので、監督職員と協議の上、工程を決定する
こと。

●工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。

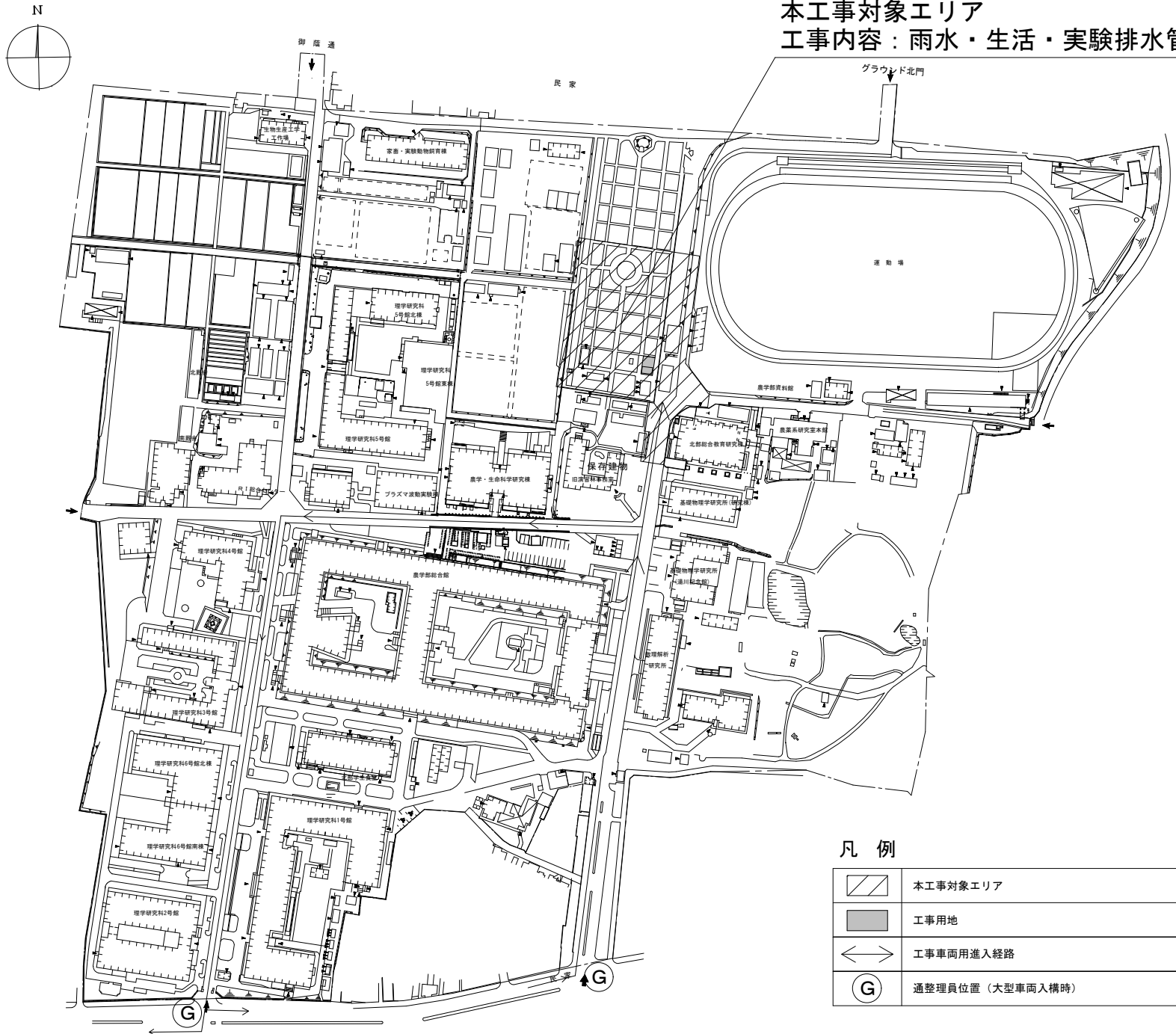
●その他建物内や敷地周囲に影響があると思われる作業については、監督職員と協議を行い進め
ること。
- | | | |
|-----------------------------------|-----------------------|-------------|
| 工事名称 京都大学（北部）基幹・環境整備（屋外排水設備）工事 | 縮尺 A 1 : - A 3 : - | 図面番号 特 1 |
| | 図面名称 特記仕様書（抜粋） | |
- 令和 7 年 3 月

現場説明付記事項

- 1 工事施工上の注意事項
- 1) 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。
工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
 - 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入ができないようにすること。また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することを原則とし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
 - 3) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
- その他、学内の試験等による作業の中止については、監督職員と協議すること。
- 4) 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
 - 5) 教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。
 - 6) 埋蔵文化財を発見した時は、ただちに工事を中止し、監督職員の指示を受けること。
 - 7) 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
 - 8) 支障となる地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
 - 9) 工事用地は、除草等常に良好な環境を保持すると共に工事完成時には現状に復帰して返還すること。
 - 10) 同一構内の他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
 - 11) 作業時間は、午前8時から午後8時を原則とすること。
 - 12) 構内における喫煙については、監督職員と協議のうえ、健康増進法（平成十四年法律第百三号）第二十五条の五に基づく受動喫煙対策を講ずること。
 - 13) 墜落防止にかかる、安全設備設置等、安全対策を実施すること。
- 2 工事中の構内安全対策について
- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
 - 2) 掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
 - 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
 - 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
 - 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
 - 6) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナ一部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。
 - 7) パネルゲートには電子音つき回転灯を設置するなど事故防止に努めること。



案内図



本工事対象エリア
工事内容：雨水・生活・実験排水管の新設

構内配置図

| | | | |
|----------------------------------|--|--------|----------------------|
| 工事名 京都市営地下鉄（北部）基幹・環境整備（屋外排水設備）工事 | | | 図面番号 1 |
| 図面名称 | 縮尺 | 設計日 | |
| 現場説明付記事項・案内図・配置図 | A1:1/2000, 1/1400 A3:1/4000, 1/2800 | 令和7年3月 | |

